

事業企画書

団体名	ほほえみネットワーク			
事業名	弘前から乳がん受診率50%達成発進!! & ケア帽子でがん患者をサポートしよう!! ※ 新規 ・ 継続 (同じ事業での申請 ____ 回目)			
事業実施 予定の期間	平成27年 7月 1日 ~ 平成28年 3月31日			
事業実施 予定の場所	弘前市内・ ヒロロ3階イベントスペース	参加予定 の人数	340 人 (うち構成員数 80人)	※継続申請の場合 昨年度の参加人数を 記入してください。
				人 (うち構成員数 人)

○今回申請する事業についてお書きください。

この事業を始めることになったきっかけや、事業実施の目的は何ですか。 【審査の視点：必要性】	<p>(きっかけ)</p> <p>① 弘前市の乳がんの受診率は、全国平均の25.3% (H25年度資料) よりも低い24.3%であり青森県の平均(24.4%)よりも下回っています。日頃の運動の中で、もっと自分に関心を持って欲しいと考え、早期発見を促すきっかけづくりの必要性を感じたことによります。</p> <p>② がん患者のケア帽子作りを設立当初からボランティアで実施しており評価も頂いておりますが、需要が多く、がん患者を支える取組みとして市民に理解とサポートの輪を広めたいと考えたからです。</p> <p>(目的)</p> <p>① 受診率を上げることです。青森県は東北6県でも5番目です。1番の山形が54.1%ですから、50%達成は可能です。啓発運動を地道に行う事により、興味を持って貰い、乳がんの正しい知識の普及が受診の向上に繋がると考えます。</p> <p>② がんは二人にひとりとも言われている時代です。ケア帽子作りで市民に理解とサポートの輪を広げて行くことが目的です。</p>
この事業は、どのような人のために、どのような内容・方法で実施しますか。 【審査の視点：公益性、実現性】	<p>(対象となる人)</p> <p>① ②とも弘前市民</p> <p>(内容・方法)</p> <p>① ・乳がんに対する正しい知識や認識を広めるための学習会を実施する。又、軽い運動などの体験教室も合わせて実施。実施の広報として、病院等への通信やその他の媒体を利用しPRを図っていく。 ・カルチャーロードに出店し、啓発パンフや自己検診付ティッシュなどを配布、乳がん触診機なども設置しピンクリボン運動を展開する。</p> <p>② これまで、弘前大学付属病院『がん相談室』にて、ケア帽子作りを行っていたものを、月1回『ヒロロ』で実施し、市民参加を呼びかける。地元のメディアも利用してPRをしていきたい。</p>

○実施スケジュールについてお書きください。【審査の視点：実現性】
 (準備作業から事業終了後の報告まで、できるだけ具体的にお願いします。)

日程(月日)	実施内容	場所	時間	参加者
7月	『笑いヨガ』実施の為の企画会議・宣伝資料作成	参画センター	13時	9名
7月	宣伝資料の送付	参画センター	13時	9名
7月18日	『笑いヨガ』教室	ヒロコ	13時	35名
7月	反省会と通信発送	社会福祉協議会	13時	9名
8月	9/5講演会の為の企画会議・宣伝資料作成	参画センター	13時	9名
9月	宣伝資料の送付	参画センター	13時	9名
9月5日	カルチャーロード企画会議 弘前大学付属病院 麻酔科 佐藤先生による講演	弘前市民会館	13時	50名
9月	反省会と通信発送 カルチャーロード企画会議	社会福祉協議会	13時	9名
9月20日	カルチャーロード出店 ピンクリボン運動	土手町	9時～16時	当会から 9名参加 市民200名
10月	反省会と通信発送	社会福祉協議会	13時	9名
7月～3月 第2金曜予定	ケア帽子作り	ヒロコ3階 イベントスペース	13時30分～ 15時30分	当会から2名 参加 市民30名 (5名×6回))

○申請する事業の実施効果についてお書きください。【審査の視点：公益性】

<p>この事業を実施することによって、市民や地域に対してどのような効果が期待できますか。</p>	<p>① 検診の必要性を喚起することにより、『他人ごと』ではないのだという意識をもって貰うことを第一歩とし、受診率の向上の効果が期待出来る。又、地道な学習会の実施や、啓発活動により乳がんの正しい知識の普及が期待出来る。</p> <p>② 一般市民が利用する公共の場所でケア帽子作りを実施することによりがん患者へのサポート意識の向上が期待出来るとともに、がん患者やその家族の窓口となることが期待出来る。</p>
--	--

○来年度以降の事業の展開についてお書きください。【審査の視点：将来性】

<p>来年度以降のこの事業を、どのように継続・展開させていく予定ですか。</p>	<p>同様に、啓発活動、学習会、ケア帽子作りの普及を行って行くが、『がん相談室』と企画をタイアップしたり、県の企画にも参画出来る体制を図って行きたい。</p> <p>又、乳がんが働き盛りの女性に多く発症することから、企業側にも理解や啓発を働きかけられる運動に発展させたいと考える。</p>
--	--

○来年度以降の財源についてお書きください。

<p>来年度以降も、補助金申請を要望しますか。</p>	<p>(<input checked="" type="radio"/> 要望する ・ <input type="radio"/> 要望しない)</p> <p>↓ いつまでをお考えですか。平成(30)年まで</p> <p>※当補助金は単年度申込み補助制度ですので、今年度採択された場合でも来年度の申請が必要です。</p>
-----------------------------	--

○他の補助制度の活用についてお書きください。

<p>今回申請した事業について、ほかに活用する補助制度はありますか。</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 無 ・ <input type="radio"/> 有 (補助制度の名称：)</p>
--	---

○保険についてお書きください。

<p>事業を実施する際、保険へ加入する予定ですか。</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 加入しない ・ <input type="radio"/> 加入する (保険の名称：)</p>
-------------------------------	--

備考

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4縦長としてください。
- 2 用紙が不足する項目は、別紙としてください。

収支予算書【審査の視点：費用の妥当性】

1 収入

(単位：円)

区 分	金 額	採択金額	摘 要	昨年度の 交付確定額
市民参加型まちづくり1% システム支援補助金	171,000	171,000		
参加費	37,500		(笑いヨガ30名+講演会45 名) × 500円	
協賛金				
団体会費	576			
収入合計	209,076		※支出の合計と同額	

2 支出

(単位：円)

区 分	金 額	採択金額	摘 要	昨年度の 交付確定額
講師等謝礼	15,000	15,000		
交通費	44,860	42,860	うち、補助対象外2,000円	
消耗品費及び原材料費	95,036	95,036		
食糧費	11,250	0	補助対象外	
燃料費				
印刷製本費	5,000	5,000		
通信運搬費	19,680	19,680		
保険料				
使用料及び賃借料	8,050	8,050		
その他経費	10,200	10,200		
支出合計	209,076	195,826		

※継続申請の場合は、昨年度の交付確定額を記入してください。

補助金の額の算定根拠	① (補助対象経費) × (補助率0.9) ≙ (補助金額) ※千円未満の端数切捨て 195,826 × 0.9 ≙ 1,76,000
	② (支出総額) - (参加費・協賛金等の収入) ≙ (補助金額) ※千円未満の端数切捨て 209,076 - 37,500 ≙ 171,000
	①・②のいずれか少ない額 (補助金申請額) <u>171,000</u> 円 (原則50万円を限度)

